

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域連携 DMO による観光地域づくり推進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 長野伊那谷観光局 (事務局：上伊那広域連合 内 電話：0265-98-8451)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,853,497 円 (うち支援金：3,882,000 円)

#### 事業内容

- アドベンチャーツーリズム事業
  - インバウンド商品造成・販売促進 PR 事業
    - 通訳ガイド研修、モニターツアー (8回、延べ25人)
    - モデルプラン・マップ作成
  - 国内向け周遊商品造成・販売促進 PR 事業
    - 上伊那体験プログラム作成・印刷  
(5,000部 A4版 16Pカラー)
  - サイクル活用周遊商品造成事業
    - ワークショップ、モニターツアー
    - 管内周遊ルートマップ作成 (6ルート)
- 情報発信強化事業
  - タイラー育成講座 (6回、延べ133人)
  - 特集記事 25本、体験記事 42本 ウェブ u p



上伊那体験  
プログラム

ライター講座  
募集チラシ

#### 【目標・ねらい】

※自己評価【 B 】

当地域ならではの交流体験と暮らし・文化を元にデータ分析や多様な関係者を巻き込んだ部会/WG 活動により上伊那ブランドを確立し、上伊那の魅力を国内外に向け発信し、知名度の向上を図る。また、新たな産業と雇用の拡大と交流・定住人口増に繋げ、持続的な観光による地域づくりを目指す。

今年度、観光局として取り組むメリットが大きいアドベンチャーツーリズム事業による商品造成 (インバウンド、国内向け、サイクル活用) を行い、次年度以降への土台作りができた。また、情報発信強化事業においては、ライターの育成や特集・体験記事の掲載によりウェブサイトの充実・発信が図れた。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 上伊那地域の最大の課題である知名度不足の打開を図るため、長野県・近隣広域組織とも連携して上伊那地域の魅力の底上げを図る観光地域づくりを進めてきた。その実現に向けインバウンド及び国内向けの商品を造成するとともにサイクルを活用した周遊ルートマップを作成し、地域を売り出すための土台作りができた。また、ウェブサイトを活用して上伊那を象徴するテーマを特集記事として掲載するとともに、ライター育成講座を開催して、上伊那で体験できる素材を基にライターが記事を執筆して体験記事として掲載したことにより、充実した観光情報の掲載・発信を図ることができ、ライターの執筆意欲の向上と次年度以降の執筆協力の継続につながった。

今後も、長野伊那谷観光局では、地域の伝統や文化を大切にしながら健康で安心して暮らせる持続可能な観光地域づくり (観光による地域経済と雇用の活性化及び移住・定住の促進「住んでよし、訪れてよし」) に取り組み、観光局を地域と観光客を繋ぐプラットフォームとして、今後より多様な関係者の参加のもと、マーケティングデータに基づく戦略を策定し、KPI (重要業績評価指標) 設定とPDCAにより、官民一体となった観光地域づくりを推進する。また、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道開通、松本空港の国際化等を見据え、上伊那全体をひとつの観光エリア「INA VALLEY」と位置付け連携すると共に、飯田・下伊那、更には木曽地域などを加えた複数の広域圏を結ぶ多面的な広域観光を推進していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある